

# 月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.2 2008 9/1

可愛くするな、  
シブくいけ！



# 島の2大シブ建築を徹底比較!

中之島のシンボルと言えばこの両者をおいて他にないだろうそんな2大スーパースターを「スター」たらしめる「シブさ」とは一体どんなところなのか? 建築ライターユニット・ぼむ企画が大いに語る。

平塚桂(以下、桂) 中之島を代表する建築を対決させ、そのシブさのひみつを考えるこの企画。私は日本銀行大阪支店を応援したいので、み江さんは大阪市中央公会堂をヨロシク。

たかみみ江(以下、み江) 勝手に決めないでください。というか、どっちも明治大正の建築界のボス、辰野金吾が関わった建物ですよ。

桂 ですね。中央公会堂は辰野金吾の大学での教え子にあたる岡田信一郎がコンペに出した案を元に、辰野片岡事務所が手を加えて実施設計をしています。日銀の場合はそもそも辰野という人が日銀の設計から本格的なキャリアをスタートした建築家で、初期日銀の建物は概ね辰野金吾の指揮下にあったようです。

み江 同じ人が関わった建物を対決させるのはオカシインじゃない? 桂 それはそうですが、この2つの建物、同一人物によるものに見えますか?

# 日本銀行大阪支店 × 大阪市中央公会堂

た日本の近代建築は、東京の日銀本店が最初だそうです。そして大阪でも、この日銀と翌年にできた大阪府立中之島図書館を皮切りに、たくさん御影石・古典主義・スーツ建築が生まれました。

み江 たしかに御影石の建物ってまわりに多いです。島に掛かる橋も、古いのはだいたい御影石を使っている。

桂 その代表例が向かいの大阪市庁舎。新しい建物ですが、先輩たちにあやかって全身御影石ですよ! すごい影響力です。

み江 なるほど。しかしこの場合、建物が大きすぎて、関取がスーツを着ているような印象がありませんか? ある意味スーツの限界を示しているような気が。

桂 この様式でこのスケールは確かに珍しいですね。

日銀がスーツなら、中央公会堂はGパンだ。

み江 しかも当の辰野さんが、結構すぐにスーツに飽きちゃったよね。そして何に目覚めたかという、赤レンガです。日銀の3年後には、いま京都府京都文化博物館になっている赤レンガの日本銀行京都支店が登場。同じ日本銀行の建物まで、あつという間に脱スーツです。

桂 レンガタイル貼りの建物からコンクリート打放しに行った安藤忠雄さんとは逆方



建物名	大阪市中央公会堂
竣工年	1918年
設計者	原設計:岡田信一郎、 実施設計:辰野片岡事務所
洋服に例えると	ジーンズ
現代建築に例えると	高松伸のガンダム建築

岩本栄之助の寄付金を元に、指名コンペを経て誕生した。銅板葺きの屋根とステンドグラスの施された大窓、そして鮮やかな赤レンガと御影石による華やかな建物。2002年に大規模な改修工事を経てよみがえった。



建物名	日本銀行大阪支店
竣工年	1903年
設計者	辰野金吾、葛西万司、 長野宇平治
洋服に例えると	スーツ
現代建築に例えると	安藤忠雄のコンクリート打放し

辰野金吾による日本銀行シリーズ第2作にして大阪進出第1作。ルネサンス建築の様式を復興させたネオ・ルネサンス様式により、カッコリとした威厳を表現した建物。1982年に一部を残して復元・改築工事がなされている。

み江 まあ見えないですね。シブ以前に地味とも言える日銀に対して中央公会堂はけっこう派手。

近代ニッポンにふさわしいスーツを仕立てた日銀。

桂 日銀の場合、地味なのはアタリマエなことです。銀行って概念自体が西洋からの輸入で、辰野金吾もヨーロッパを視察して「日本国の銀行なるものをつくる上でいかなる姿が相応しいか」と考えたわけ。

み江 フーン。

桂 で、ベルギーの国立銀行をモデルに、カッコリした古典様式の石積み建築の日本銀行本店を東京につくりました、と。

み江 扉や堀で囲まれていて、まるで城みたいな建物ですよ。当時のエライ人は士族出身が多いから、好みにも合ったのかも。で、中之島の日銀の特徴って何?

桂 ドームがあります。あとは本店といたい同じかな。

み江 それだけ?

桂 ようは銀行、ひいては近代ニッポンのビジネス界に相応しいスーツを仕立てたんですよ。だから同じでいいんです。

み江 コーディネートを考えたくないサラリーマンの言いわけみたいですね。

桂 スーツと言ってもかなりの高級スーツですよ。外壁の素材は御影石。これを使っ

向の進化ですね。

み江 安藤さんは商業建築から出発して国家的プロジェクトに携わるようになりましただね。辰野金吾の場官キャリアが逆で、徐々に大衆性の高い建物に移行したので自然な進化とも言えます。辰野式の赤レンガはクイーン・アン様式と呼ばれる19世紀終わりのイギリスで流行ったスタイルが元ネタです。道路際の集合住宅などストリートで発展したもので、国家や権威とは無縁。つまりスーツに対するGパンみたいなもの。カジュアルなんです。

桂 自身も日銀の竣工と前後して東大の教授職を辞し、設計事務所を設立。スーツを脱ぎジーンズに着替えた、と。

み江 しかし中央公会堂はGパンとひとくくりにするには惜しい個性があります。正面の巨大なアーチ型の窓に、目がチカチカする赤白の帯。私はこれを高松伸のキリンプラザ大阪に代表されるメカっぽい「ガンダム建築」の先祖と捉えたいですね。

桂 たしかに屋上に並ぶドーム群は宇宙とも交信できそうだし、ビームが出てきそうな丸い窓もモビルスーツ的ではある。

み江 建て替えの話が出た71年から保存が決定した88年まで、市民を巻き込んだ熱烈な保存運動で残ったファンの多い建物ですが、この根強さもガンダムのような存在感のためには?





**昭和のシブさを  
実感するなら…**  
**高岡伸一さん**  
建築家

戦後の復興期から、高度成長期にかけて建てられた建築が好きだ。雑誌を賑わす最新の建築より、戦前のレトロな近代建築より好き、かもしれない。面白味のない無機質な四角いハコ、そんなイメージが定着してしまった昭和のビルたち。しかし細部には思いのほか豊かな造形が見られ、生まれたばかりの工業製品はまだどこかぎこちなく、大らかな魅力に満ちている。大きく変貌する中之島では、この時代の建築は残りわずか。最新のビルと歴史的建築だけになる前に、せめて僕の愛する島建築を紹介しておきたい。

## 1 新朝日ビル

断トツのベストワン。このカッコよさはどうだ。西半分は工場プレスされたメタリックなパネルで覆われ、川に面した南側には信楽焼の牧神たちが音楽を奏でる。そこへアバンギャルドな鉄塔が載るのだからたまらない。工業的なものと工芸的なもの、相反する要素が平気で並んでるところにこの時代の魅力がある。



## 2 中之島センタービル

西日本一を誇った高さ129mも、今では市内50位あたり。しかし「超高層ビル」という言葉は、もっさり感漂うこの時代のビルにこそ相応しい。大阪の超高層ビルは頭に何か飾りや載せないと気が済まないが、その悲しい性はこの頃から。子供の頃、夜空に光るタンクがアポロの月着陸船に見えたことを思い出す。



## 3 リバーサイドビルディング

普通のビルの魅力こそ、である。川沿いのロケーション以上に、都心に5階建てのビルが建っていることの贅沢さ。建て替われば必ず高層ビルになってしまう。こんなプロポジションは二度と現れないし、川面との距離感は決定的に失われるだろう。奇をてらわないデザインも大好き。ここに事務所を構えたいくらいだ。



たかおか・しんいち 建築家、大阪市立大学都市研究プラザ特任講師、船場アートカフェ・ディレクター。戦後建築を愛する仲間と秋にイベント「ビル・マニア・カフェ」を開催予定。著書に「大大阪モダン建築」(青幻舎)。次は戦後版が目標。



**カメラを提げて  
出掛けるなら**  
**町井初夫さん**  
元朝日新聞写真部記者

中之島は、重厚で壮麗な近代建築の宝庫ですが、ビルだけを主役に写真を撮るのは、実はとても難しいんです。でも、水面のきらめきや街路樹の色づき、花壇や遊歩道など周囲の風景をうまく引っ掛けければ、外国の街角のようにスマートな、大阪らしからぬ(笑)写真が撮れます。中之島は東西に長いので、朝と晩では光の差す方向が異なり、同じ風景がまったく違う表情になるのもいい。夕刻、橋の上から西の景色を望んでみてください。ビル群に沈む夕日は、それは見事な眺めですよ。

## 1 大阪市役所

淀屋橋〜大江橋間は、四季の移り変わりを伝える「スケッチ写真」のメッカ。記者時代、サラリーマンの出勤風景を狙ってよく出向いたものです。連休明けの疲れた表情、初夏の衣替え、コートの手立てて歩く背中…。どっしりした市役所や橋の装飾などを配せば、構図が締まります。



## 2 リーガロイヤルホテル

大物政治家の記者会見、財界人の会合、皇族方のご滞在。大阪では最も格式の高いホテルですから、そんな取材で何度も訪れました。建物のみを撮ったことはあまりないですが、3棟が連なった構図は面白いし、何よりクリスマスの時期のイルミネーションはとても絵になりますよね。



## 3 朝日ビル・朝日新聞ビル

かつては屋上で伝書鳩を飼っていたという朝日ビル(1931年築)、私の職場があった朝日新聞ビル(1968年築)。写真部は肥後橋側の窓に面していて、夕立や雪など天候の変化を察知すればすぐに屋上へ駆け上がりました。建て替えられるのは寂しい限りですが、これも時代でしょう。



まちい・はつお 朝日新聞の福井、阪神支局などを経て大阪本社写真部。現役記者だった約20年前から朝日カルチャーセンターの講師を兼任。コンクール審査員も務めた。現在、京都、川西などで講座を持ち、中之島でも不定期に開催。



**日本建築史に  
照らすなら…**  
**酒井一光さん**  
学芸員

学生時代、旅行で大阪を訪れた際に、ライトアップされた中之島図書館をみて鳥肌が立った。当時、東京に住んでいた私には、日本を代表する三つの近代建築がひとつの島に肩をならべている姿は「想像できません」というくらい、うらやましい光景だった。以後、大阪に勤めるようになってから何度も見ているのに、飽きることなく、いいなと思う。川面に映えるこれらの建築がなかったら、大阪は「水の都」と言い続けることができたであろうか? その保存には、市民の熱い思いがあったことも忘れてはならないだろう。

## 1 日本銀行大阪支店

明治36年に完成。その後、目の前に巨大な御堂筋ができたため、ちょっぴり古風な印象になった。本来、左右対称の堂々たる洋風建築は、真正面からアプロ一チしたい。もし御堂筋が歩行者天国になったら、建物手前に庭園があることを勝手に想像しつつ一直線に歩みたい。そのとき、真の姿が見えるだろう。



## 2 大阪府立中之島図書館

正面を飾る四本の太い石柱の上部は、コリント式と呼ばれる繊細な柱頭装飾。欧米の模倣にはじまった日本の近代建築も、明治37年の中之島図書館をもって、ひとつの頂点に達したといわれる。完成度の高い内外装仕上げに、美しいプロポジション。100年前の名建築を現役で使っているのは、すごいことです。



## 3 大阪市中心公会堂

公会堂のない大阪は、ノートルダムのないパリ、サン・マルコのないヴェネツィアのように、想像すらできない。今年で90歳を迎える公会堂は、もっとも市民に愛される建築だろう。赤煉瓦の鮮やかな色彩、正面の大アーチと双塔、側面からみた屋根の柔らかなさなど、優雅で変化に富んだ姿はまさに大阪のシンボル。



さかい・かずみつ 大阪歴史博物館学芸員。専門は建築史。著書に『窓から読みとく近代建築』(学芸出版社)。現在、10月29日(水)〜12月23日(祝)に開催予定の特集展示「90周年記念 大阪市中心公会堂の建築・美術・舞台」を準備中。



**リノベーション  
するなら…**  
**間宮吉彦さん**  
空間設計者

中之島は、かつての旦那衆が「大阪の顔はええもんにせなアカン」と、パブリックな名建築を次々と造り、街の顔が確立されました。アメリカ村や南船場、堀江のように「人が店をつくり、店が“界隈”をつくり、街の顔ができた」とは違う。だからあくまで歴史や重厚感に敬意を払いつつ、新しいものを「付け加える」視点が重要。私は「エンターテインメント」と「モノづくり」を付け加えたいと思います。これだけ水辺の自然に恵まれ、名建築がいっぱいあるエリアなんて、日本のどこを探してもないですよ。

## 1 新朝日ビル

ビル自体を残し、フェスティバルホールとリーガランドホテル(今年3月に閉館)をもっとひっつけ、ホテルの部屋を出てそのまま華やいだ気持ちでホールに行ける動線にする。正装してショーを楽しんだりできるラスベガスのように。ちょっとイヤミな「大阪のセレブリティ」の遊びを楽しめる場所にします。



## 2 中之島遊歩道

せつかく川があるのだから、遊歩道から歩いて水際まで行けないと意味がない。そこに「水上ステージ」を造る。ミュージシャンは船でやって来て、観客は遊歩道や橋の上から歓声を上げる…なんてどうですか? 音楽だけじゃなくて、プロレスなどもここでできれば面白いでしょう?



## 3 ダイビル

大阪が誇る名建築は残し、世界のアーティストやクリエイターが集まる芸術村にしましょう。上海で古い自動車工場を芸術村にした先例があるが、うまくいっている(インフィクス上海も入る)。若い人はモノ作りを敬遠してパーチャルな世界を志向しているが、これはアブない。そのためにも新しい試みを。



まみや・よしひこ インフィクス代表。80年代より「街に影響を与え、かつ街の空気を体現した店」を貫いて造り続ける。建設中の中之島ダイビル商業ゾーンを始め、現在は「島」がらみの仕事が多い。特に「地場に対する愛着」を意識。



**「見るだけ」じゃない  
建築なら…**  
**小田切 聡さん**  
観光プランナー

大阪の観光プランナーという職業柄、単にカッコイイ外観を眺めるとか、有名建築家のデザインだとか、そんな旧型の観光スタイルじゃ物足りない。今どきの観光スタイルは「異日常体験型」。その地域の人にとっては日常的な出来事でも、初めて来る私にとっては異日常。そんな体験をするのが一番! だから、近代建築を見学するなら、中に入ってそこで働いている人や、そこを日常的に利用している人がやっているのを見たい。そして出来ることならそれを自分も体験したい。それが出来る建築が最高に楽しい。

## 1 三井住友銀行大阪本店

一般の銀行とはいえ、背筋が伸びるとても威厳ある雰囲気醸し出している。もちろん、ふつうの銀行同様に誰でも利用できるのだが、どうせならここで口座を開設したい。それだけでリッチになった気分になれる。そしていつの日か、大口顧客として特別室(あるかどうか知らないが)にて商談してみたい。



## 2 ダイビル

外観も内装もエレベーターもカッコイイ。その中でも私的にクールなのがダストシユート方式の館内郵便ポスト。上層階で投函すると、そのまま筒の中を落ちていく。ああ、このアナログ感! 最高。ちゃんと届くかな? 1階の喫茶[大大阪](P9)で手紙を書いて、上から投函なんて楽しみ方も。



## 3 大阪証券取引所ビル

株取引をやらない人間には関係ない建物。そう言ってしまうのは元も子もない。でもここは株のことなんて全く知らなくても見学して楽しめるのだ。それも予約なしで。「北浜で急に予定がキャンセルになってしまった」なんて時に、いきなりでもOK。ビルの近代化とともに、株取引もシステム化しているのがちょっと寂しいけど。



おだぎり・さとし コテコテではない大阪の知られざる魅力を観光資源に落とすプランナー。ライフワークである街歩きの結果を生かして、最近では雑誌「大阪人」での連載など、執筆業も増えてきた。株式会社道頓堀スタジオジャパン所属。

# わたしのベスト島建築3

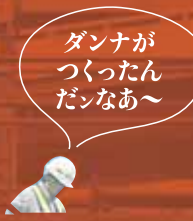
中之島には数多くの「シブい!」と唸られる建築物がある。しかし、それは見る人が変わればまた違ったものになるようだ。島に縁の深い人々に、独断と偏見たっぷりを選んでもらった。



## 悲劇の相場師・岩本栄之助

中之島ばかりか大阪を代表する近代建築・大阪市中央公会堂は、一人の株相場師の寄付によって建てられた。「北浜の大閼はん」義侠の相場師」の異名を取った岩本栄之助（1877〜1916）。商売柄いつ無一文にならないとも限らないと、桜の植樹を検討したこともあったが、32歳の時の渡米視察が岩本の心を動かしした。

「富豪カ公共事業ニ財産ヲ投シテ公衆ノ便益ヲ謀リ又ハ慈善事業ニ能ク遺産ヲ分譲セル実況ヲ目撃シテ大ニ感動…」自筆の記録は、カーネギーホールなどを見て回った感想らしい。1911年、1000万円の寄付を公表すると市民は驚き、喝采した。現在の価値で80億円ともいわれる額。着工すると、大阪天満宮で工事の無事を祈るのが岩本の日課になったという。



# 中之島をつくった“ダンナイズム”。

大阪を「商人の町」たらしめたのは、豪商や財界・経済人。儲けたカネを街のためにパーッと使う、いわゆる「旦那衆」である。その原点は中之島にある。そう、中之島を支えてきたのは「ダンナイズム」なのだ。

取材・文／松本 創(本誌)  
参考文献／「大阪の20世紀」産経新聞大阪社会部、  
「大阪まち物語」なにわ物語研究会編

だが、運命は暗転する。第一次大戦の狂乱相場を契機に大損失を被り、追い詰められた岩本は自ら命を絶つことを選んだ。1916年。銃で首を撃ち抜き、運ばれた病室からは公会堂の工事現場が見えたが、岩本が完成した姿を目にすることはなかった。大阪の寄付文化の象徴となる赤レンガのネオ・ルネサンス建築が完成したのは、悲劇の死から2年後のことである。

## 中之島開発の祖・淀屋親子

時代はさかのぼって近世。葦の生い茂る荒地地だった中之島の開発に乗り出したのは天下の豪商、淀屋常安（1560〜1622）だ。京都で豊臣秀吉に重用され、北浜に移って材木商となるが、大阪冬の陣以降は徳川方に付き、中之島開拓を願い出る。その拠点として「常安請所」を置き、橋を架けた。1610年ごろの話。淀屋橋や常安橋にその名が残る。

さらに勢いを増したのが2代目である言當（1576〜1643）の時代。先物取引の始まりとされる米市を淀屋橋南詰に開き、魚の干物を扱う雑喉場市、青物市とともに6（1885）は、淀屋が始めた米市を対岸に移し、堂島米会所を開設。さらに北浜に大阪株式取引所（現・証券取引所）を造り、大阪商法会議所（現・商工会議所）の初代会頭となる。長崎出身の草野文吉は、難波橋の西に洋食店を兼ねた「自由亭ホテル」を開業。明治・大正期を通じて規模を拡大し、皇族はじめ国内外の貴賓客が泊まるホテルに育てた。リーガロイヤルホテルの前史である。

「住友村」と呼ばれるほど中之島に集中した住友グループは、さまざまなビルで島の風景を彩った。大阪大学中之島センターには、理学部出身の元サントリー社長、佐治敬三の遺族が寄付した佐治敬三メモリアルホールがある。

## 行き交った財界人たち

中之島界限では、多くの財界人たちが行き交い、それぞれの「仕事」を通じて島を発展させた。薩摩出身の五代友厚（183

大坂三天市場を一手に握った。親子2代で「天下の台所」の礎を築いたのである。が、あまりの繁盛ぶりが災いする。「町人の身分に過ぎた振る舞いがあつた」として幕府に財産を没収され、大坂を追い出されたのだ。1705年、5代目の時代。諸大名への貸付金が膨らみ過ぎたのが、本当の理由だともいわれている。

中之島界限で手掛けた最近の仕事といえば、10月19日に開業する京阪電車中之島線「なにわ橋駅」のデザインですね。再整備の進む中之島公園にあり、西側には中央公会堂や東洋陶磁美術館。そうした景観との一体感を重視しました。壁にはLED照明を内蔵し、階段を昇り降りするたび、青い光のグラデーションを体感できます。水中を潜ったり浮上したりするイメージですね。

先ごろ船着場が開港した八軒家浜の整備ではアドバイザーを務めましたし、来年3月に完成する剣先公園（中之島東端）には、高さ30メートルの噴水を立ち上げて「水の都」のシンボルとします。

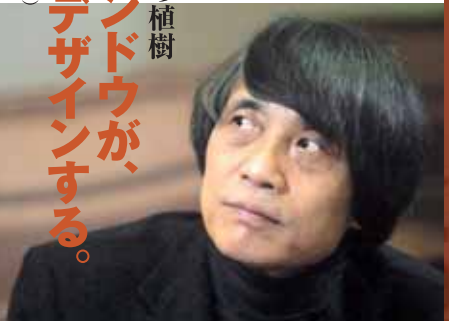
そこへもう一つ色を添えるのが2004年11月から続けている「桜の会・平成の通り抜け」プロジェクト。造幣局の桜の通り抜けを発展させる形で、淀川から天保山までの約7・5キロに桜を植えようと呼び掛けてきました。当初目標は1万円募金を4万5000人分。「難しいだろう」と言われたのが、結局5万2000人分もの募金が集まりました。

大江橋や渡辺橋が市民の寄付によって架けられたように、市民の力で街をつかっていこうというのが大阪の社会的遺伝子です。最近元気がないといわれますが、そういう気概が残っていたことは、大阪に生まれ育てられた人間としては、とてもうれしいですね。

中之島を中心に、回遊性の高い「水の都」を再生し、一帯を桜でつなげることによって「春は大阪」のイメージを作りたいと思います。

駅舎、噴水、桜の植樹  
世界のランドマークが、  
中之島をデザインする。

取材・文／松本 創(本誌)





# 「いつもの店」も、シブい。

なにも赤レンガの名建築ばかりが中之島のシブさではない。われわれ島民が気兼ねなく通う「いつもの店」にだって、シブさは溢れている。あるいはこんな店の存在こそ、中之島の「シブさ」の理由であるかもしれないのだ。

取材文／溝口さやか(本誌)

客層を見るだけで  
経済情勢もわかる。

## MJB珈琲店 淀屋橋店

チェーン店のコーヒーショップが増殖中の淀屋橋界隈で、忙しいビジネスマンたちが待ち合わせに、商談に、ランチに使える店として不動の人気を誇る「MJB珈琲店」。昭和44年の開店当時から、住友(現三井住友)銀行や東京(現三菱東京UFJ)銀行など金融関係の常連が多く、20年近く店に立つ代表取締役の横井さんは「不況では気軽に休憩にも出られんから、客層を見るだけで経済情勢もわかる」のだとか。

内装を手がけたデザイナーが備えたテーブル脇の電気スタンドはフランス製でセンスが光るぶん、故障しても部品が無いという悩ましい一面も。



喫茶



## MJB珈琲店 淀屋橋店

日替わりで世界のブレンドコーヒーが味わえる「七色の珈琲」は420円。朝イチに気合いを入れに来る人も多し。  
☎06-6203-0078 7:30AM~10:00PM (土曜・祝日~6:00PM) 日曜休

蕎麦



## 一山

定食が無い代わりに「大太」は、大盛りの1.5倍/ざるそば570円。大太で750円と破格の値段でお腹もお財布も大満足。  
☎06-6231-6059 11:00AM~6:20PM 土・日・祝休

会社員に商人に相場師と島民のるつぼだった。蕎麦専門店 一山

堂島で生まれ育った生粋の島民、真木さんは80余年続く蕎麦専門店「一山」の3代目。子ども頃からお店とともに島を見てきた生粋証人でもある。戦前は「全日空のあたりから新タイビルまでの川沿いに堂島米穀取引所があったから、商人や相場師もよう来てはった」。相場師に、住民に、近所の商店主にも、店内は血気盛んなちよつとした島民のるつぼだったに違いない。50年前に現在の高麗橋に移ってからも、ビジネススマンが大盛りのさらに上の「大太」など独自の食べ方を編み出すなど、今も変わらず島民御用達の店なのだ。

ショットバー



## coffee shotbar TSUJI

「赤スパ」「白スパ」(各600円)と命名されたナポリタンと醤油パスタがランチにも夜食にも欠かせない。  
☎06-6231-4891 9:30AM~2:30PM 5:00PM~10:00PM 土・日・祝休

# 「シブさ」はなにも昔の話、だけではない。 中之島の歴史に魅せられ、それを伝える人がたくさんいます。

取材文／若狭健作(本誌)



「ええとこ」を絵はがきに。  
大阪ええはがき研究会

新大阪駅で売られている絵はがきのほとんどが京都と神戸の写真。「ないのなら自分たちで作ろう」と使命感に燃え、2001年に設立した会の名は「大阪ええはがき研究会」。大阪で働く建築や都市計画の専門家たちを中心に活動する。

年齢も着眼点もさまざま。会の看板娘(?)こと柴田さん(写真左)の中之島作品は、中之島公園から見える空の広さ。水面から公会堂を撮った篠原祥さん(右)は「新線開業で野田や福島の魅力がきつと際立ってくる」と対岸にも注目する。昨年から参加するルーキー・湯川敏男さんは、中央公会堂や旧大阪市役所といった島の名建築を立体絵はがきとして発表し、メンバーたちの度肝を抜いた。「まだしばらくはネタ切れの心配はない」と頼もしい研究会の次の展覧会は、なんと東横堀川界隈とか。何やら、ええイベントの予感がする。



## 大阪ええはがき研究会

月1回の定例会「ええ会」では終電間際までええ大人が絵はがきを熱く語る。展覧会や「ええはがき」の数々はブログでも紹介。<http://osaka-eehagaki.seesaa.net/>

ガス燈の灯は公会堂へ。

## 三休橋筋商業協同組合 岡本浩典さん

大阪市中央公会堂の南にかかる梅樫木橋。ここから長堀通まで続く約2kmの三休橋筋には、適塾や八木通商、浪速教会、綿業会館といった銘々たるシブ建築が立ち並ぶ。そんな場所に「ここはもつとええ街になる」と魅力に注目する団体や元気な企業家たちが「三休橋筋発展会」を2004年に立ち上げた。

地元の6つの連合振興町会長も世話人として名前を連ねた。「元気なよそもんと地元の人たちがうまく力をあわせることができた」という事務局の岡本浩典さん。歩道拡幅や電線の地中化について大阪市と意見交換をしながら、街路樹は街のシンボル梅樫木に。さらに「ガス燈も欲しいなあ」と盛り上がりつつ、絶妙のタイミングで大阪ガスの100周年事業で30基、堺屋太一氏の勉強会からもさらに20基の寄贈が決定した。南から順番に設置がすすむガス燈の最後の一本が公会堂の南に立つのは2011年の予定だ。



## 三休橋筋商業協同組合

月に一度の清掃活動やストリート広告の社会実験、毎年6月には近代建築を使った食のイベントを開くなど沿道の事業者やお店が三休橋筋の活性化に取り組む。www.3984st.com



喫茶室から名建築の時代を。

## 「大阪名品喫茶 大太」 井上タツ子さん

「コンセプトはカフェじゃなくて「ダイビルの喫茶室」なんです」と店長代理の井上さん。2009年に取り壊しが予定される名建築・ダイビルの1階に3年前、お店をオープンした。解体までの期間限定とあって反響は大きく「昔このビルで働いていたのが懐かしくて」というオールドファンや「なんかシブいっす」な建築学生まで、人々が再び足を運ぶきっかけを作った。お店の一角には、マジックインキやサクラクレパス、キャンパスノートといった大阪が生んだ名品たちが並ぶ。「これも大阪のものやっただんか」と改めて気づくお客さんは多いんです。大阪の誇りやよさを再発見してもらう場になれば」と井上さん。モダン建築をリノベーションした空間は、ビルで働いてきたおじさま世代にも圧倒的に支持され、内装だけでなく客層にもシブさがにじみ出る。



## 大阪名品喫茶 大太

大太時代を伝える豊富な蔵書を手には、濃厚な「大太ブレンド」(450円)を味わえる。大阪にこだわったイベントも随時開催している。  
☎06-6444-8870 9:30AM~6:00PM 日・祝休

午後6時にはすでに  
仕事帰りの島民が鈴なりに。  
coffee shotbar TSUJI

朝日新聞ビル地下2階の「TSUJI」はビル竣工とともにオープンし今年で40年。午後6時にもなれば21席のカウンターは会社帰りの島民で鈴なりになる。開業した当時は夕方になるとおでんなどの屋台が出てきて、ビルの玄関まわりをぐるりと囲むほどだったとか。その当時から「残業の合間に」組や「一杯飲んでから新地へ繰り出し」組の新聞マンが多く訪れ、喫茶店感覚で利用していた。5年後のビル移転については「大好きなお客様たちがご退職された後も来てもらえるうちは中之島にいたいですね」と店主の豊田真理子さんも思案中。



# の

ちに中之島公園となる難波橋より東側一帯は、江戸時代には浅瀬でした。水位の変化によって小さな島になるといったような土地であったそうです。夏などには、その「島」は茶店が出たり、芸能の小屋が立ったりと、人で賑わう場所だったようです。明治の後半には大きな台船を浮かべ、納涼のための仮設店舗がならんだ時もありました。

また難波橋・天神橋・天満橋は、ふりから大阪を代表する3つの橋です。たとえば天神橋などには、天神祭が行われる日以外でも、夏は橋の上に店が出て、涼みの名所になっていました。今のようにクーラーがあるわけではなく、夕涼みがてらにぶらぶらと人が集まってきたのでしょう。

また日清・日露戦争の後には、戦勝を祝う大祝賀会が中之島で催されたりもしました。中之島が都市型公園として開発されることになったのも、そもそも人が集まり、楽しみを共有する場所。またいっぽうで市民が憩う場所だったという背景があったんです。

## ヨーロッパに負けない「美しい都市」を。

中之島公園は日本の公園のなかでも際だった存在だと思います。ヨーロッパの街並みをお手本に、明治政府も近代都市には誰もが使える憩いの場所が必

## 近代都市に必要なものが順番にできていった。

中之島には現在もたくさん近代建築が残っています。それらは明治・大正・昭和の初めにかけて大阪が大都市へと成長していく中で、「その時代ごとに必要だったもの」という印象があります。もともと中之島は船場という街から見た場合、北側の街外れにあつて蔵屋敷がならぶ場所でした。近代化のなかでその跡地に、大都会に必要な施設を順に開発していったわけです。

まず初めに日本銀行大阪支店と府立中之島図書館が向かい合つて建てられ、新しい大阪のシンボルになった。その真ん中に市役所ができ、中央公会堂ができ……というふう近代都市に必要な施設が整備されていきました。欧州の都市にあるようなシビックセンター、すなわち公共施設を集めた都心を造ろうとした経緯があります。

さらに西側では、朝日新聞社ができ、ダイビルができ、リーガロイヤルホテルの前身となる新大阪ホテルができて



中之島公園の様子が描かれた絵はがき。噴水もある憩いの場であったことが分かる。遠景に描かれた天神橋の形状から大正時代ごろのものと考えられる。(橋爪紳也コレクションより)

要だと考えたのでしょうか。そこで新しい都市にふさわしい施設として計画されたのが「公園」でした。大阪でも浜寺や住吉、天王寺などに公園が整備されていきましたが、都心のビジネスセンターに隣接した場所に、川に浮かんでいるような近代的な都市公園を造った点において、中之島公園は斬新でした。川にそつて、公園の外縁をぐるりと回れる遊歩道を整備し、公園に架かる橋も他よりはお金をかけて意匠も工夫を凝らしました。あわせて堺筋や御堂筋の拡幅工事を行い、路面電車や地下鉄を通しつづ、橋のうえにもモダンな照明を用意しました。ヨーロッパの都市に負けない近代的な「美観」を、ここに造ろうと考えたわけです。日本の大都市のなかでは、画期的な公園整備だったと言えます。

# 中之島は「グレート大阪」のよりどころだった。

## 橋爪紳也 談

いった。大阪の近代化を考える時、中之島が果たした役割は大きいと思います。

## シブいビルディングも、昔は最先端だった。

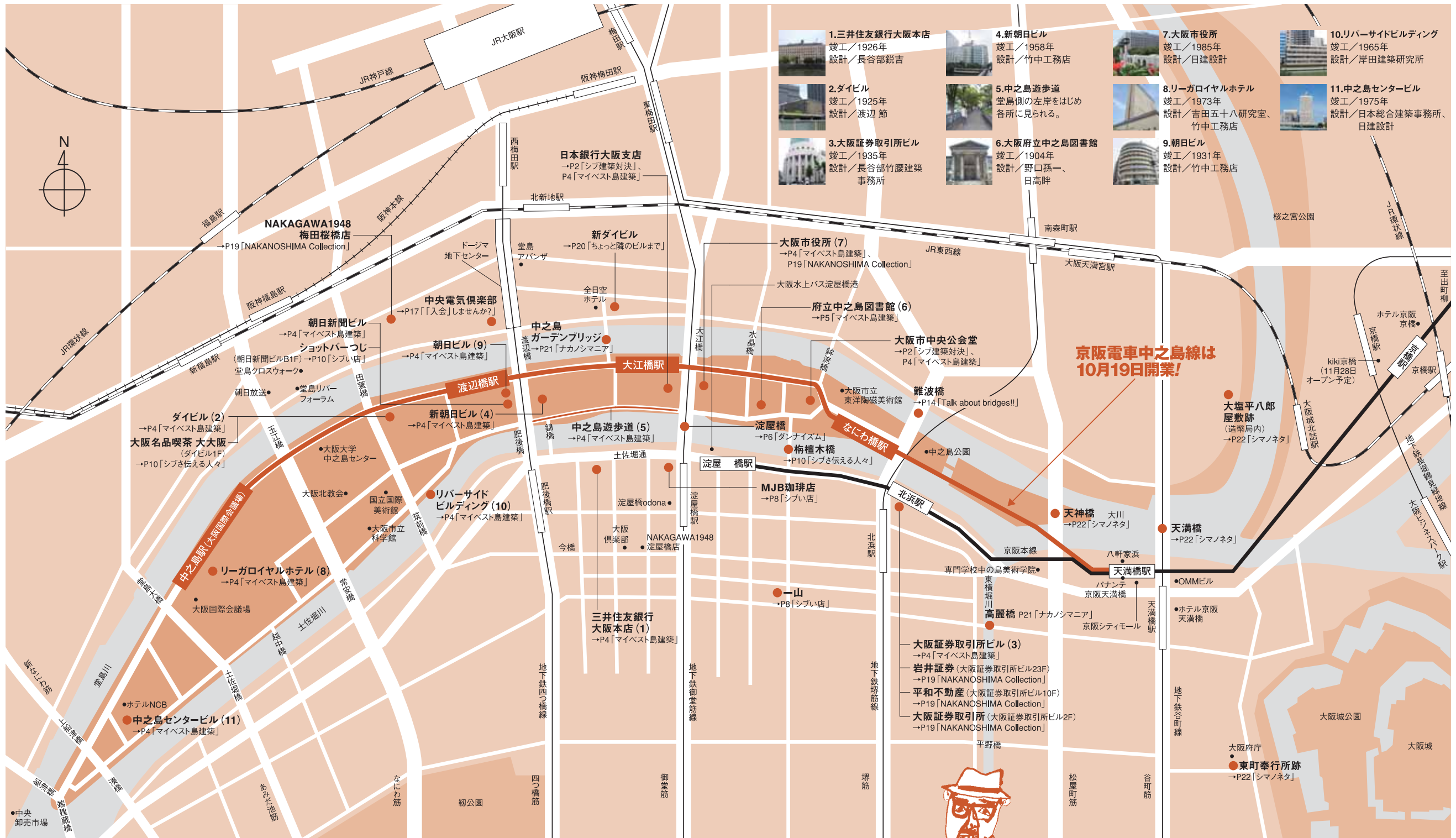
「大正時代」を象徴するこれらの建物を見て、みんな「シブい」と言いますね。でも、その「シブさ」って何だろう？ と考えてみてください。シブさとは相対的なもの。つまり周りに「シブくない」ものがたくさんあるということかもしれません。

今は「シブい」と言われている近代建築も、建てられた当時は信じられないほどに最先端をゆく建築でした。大阪の都心は、まだ町家とか長屋、せいぜい二階建ての西洋館が建っているといった状況であつたはず。それに對して中之島には、立派な公共建築が集まり、さらに白いオフィスビルがそびえたつようになっています。当時の人々の気分になって、考えてみてほしいですね。下の写真には「グレート大阪」というタイトルが付けられています。当時の人が「グレート大阪」「大大阪」と呼んで、自分たちの大阪を誇りに思い、世界的な都市にしたいと意気込んでいた様子が伝わってきます。

はしつめ・しんや 京都大学工学部建築学科卒業、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。現在は大阪府立大学特別教授、大阪市立大学都市研究プラザ特任教授、また大阪府の政策アドバイザーも務める。「京阪神モダン生活」など都市や大阪の街に言及する著書多数。1960年大阪市生まれ。

大正時代の大阪市中央公会堂とその周辺。川沿いには整備された公園が見える。公会堂の手前にはリーガロイヤルホテルのルーツである大阪ホテル。奥では図書館の新館建設工事が行われている。(大阪朝日新聞社「写真集報」より)





- 1.三井住友銀行大阪本店  
竣工/1926年  
設計/長谷部鋭吉
- 2.ダイビル  
竣工/1925年  
設計/渡辺 節
- 3.大阪証券取引所ビル  
竣工/1935年  
設計/長谷部竹腰建築事務所
- 4.新朝日ビル  
竣工/1958年  
設計/竹中工務店
- 5.中之島遊歩道  
堂島側の左岸をはじめ  
各所に見られる。
- 6.大阪府立中之島図書館  
竣工/1904年  
設計/野口孫一、日高 胖
- 7.大阪市役所  
竣工/1985年  
設計/日建設計
- 8.リーガロイヤルホテル  
竣工/1973年  
設計/吉田五十八研究室、竹中工務店
- 9.朝日ビル  
竣工/1931年  
設計/竹中工務店
- 10.リバーサイドビルディング  
竣工/1965年  
設計/岸田建築研究所
- 11.中之島センタービル  
竣工/1975年  
設計/日本総合建築事務所、日建設計

**京阪電車中之島線は  
10月19日開業!**

# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!





平塚桂（以下、桂）中之島では現存最古の橋。市電堺筋線の南森町方面への延伸をきっかけに、路面電車のレールを敷けるよう木造から鋼製の橋に架け直されました。

たかぎみ江（以下、み江）2つの川と中之島をまたにかける大きな橋ですね。桂として中之島公園とあわせて大きなスケールから計画した橋、というのが斬新です。周辺エリアへ連続させる演出が、これまたウマイ。劇場にでもありそうな立派な階段で公園につなぎつつ、公園側から見ると西側の官公庁街への荘厳な人口にもなっているというみ江。現在で言う景観配慮型のまちづくり計画ですね。キャラの立ったデザインがまた、見ごたえアリです。

桂 デザインは**宗兵蔵**。堺筋沿いの生駒ビルディングなんかを手がけた建築家です。とてもジェントルマンな方だったそうですよ。建築家があこがれる建築家。

み江 “建築家モノ”だからか、ふつうは建物に使われる西洋的な古典様式が橋の親柱や下部工にちよくちよく顔を出してますよね。**ヘディメント**とか、**メダリオン**とか。

桂 そして何よりこの人が好きなのは、**大阪市章**。「みおつくし」をモチーフにしたマークを欄干に組み込んでいます。このマークは宗さんの独立第一作である柴島浄水場第一配水ポンプ場（現・

大阪市水道記念館）の正面にもついているんですよ。

み江 西洋から輸入したデザインと国産のロゴをいっしょくたに扱っているのがおもしろい。

桂 ブランドロゴみたいなものですかね。「みおつくし」はそれこそ万葉時代にさかのぼる“信頼のブランド”ですから。み江 それをファッションデザイナーのような感覚で橋にマークをリビートしています。ポップですよ。

桂 いまの欄干は昭和時代の改修工事で照明灯とあわせて復元されたものな

## Talk about bridges!! 橋の話しよう②

# 難波橋

文／ぼむ企画  
絵／綱本武雄（本誌）

※1 宗兵蔵

そう・ひょうぞう（1864～1944）。後の東京大学卒業後、宮内省や海軍などで建築を手がけ1913年大阪で独立。高潔な人格と風貌で尊敬を集めた。

※2 ヘディメント

古代ギリシア建築が原型とされる、切妻屋根の妻側にある三角形の部分のこと。正面を強調するため、古典的モチーフの建築ではあちこちに装飾的に使われる。

※3 メダリオン

メダルのような、円形の浮き彫りのこと。古典的な建築の中では建物と関係のあるモチーフを図像化し、華やかさをポイントで演出するために使われることが多い。

※4 大阪市章

みおつくし（濠洲）は古采難波江の浅瀬に立てられた水路を示す標識で、古歌にも歌われた。1894年、水運で繁栄した商都大阪を象徴するとして市章に採用。

※5 天岡均一

あまおか・きんいち（1875～1924）。現在の兵庫県三田市出身の彫刻家。大阪市長、池上四郎からの依頼でライオン像を制作。酒好きの豪快な人物であった。

※6 片山東熊

かたやま・とくま（1854～1917）。後の東京大学の建築学科第一期生で、赤坂離宮など宮廷建築の設計に関わる。宮内省では宗兵蔵の師匠筋にあたる。

ぼむきかく たかぎみ江、平塚桂の2人による建築ライターユニット。「カーサ・フルータス」ほかの雑誌にも執筆。「けんちく家対決」や「けんちく雑誌ガイド」など独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

たかぎみ江、平塚桂の2人による建築ライターユニット。「カーサ・フルータス」ほかの雑誌にも執筆。「けんちく家対決」や「けんちく雑誌ガイド」など独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

向かって左側に阿、右側に吽の表情のライオン像。ちなみに通常の神社の狛犬とは逆の配置。

クリスマスのリースのような形のメダリオン。市章と組み合わせて図案化している。

この三角形がヘディメント。その中央にも大阪市章。

ゴロンとしたルックスの球状の飾り。

照明灯の足元にあるメダリオンは、船をつなぐロープのようでもある。

欄干はむかしは少し黒っぽく、コンクリートの方立でないものだった。市章をリビートさせるデザインは復元の際に継承されている。

### なにわ 難波橋

1915年完成。親柱上に鎮座する四体のライオン像にちなみ“ライオン橋”の愛称で親しまれている。3年掛かりの補修工事により1975年、戦時中に失われた欄干や照明灯が復元された。全長187.15m。橋脚と中之島部の構造はコンクリート造。



Will you join us?  
中之島に「入会」しませんか?

取材・文／石原 卓(本誌)



建物内の至る所には、当時の業界の隆盛を誇示するレリーフがあしらわれている。

number. 0002

# 中央電気倶楽部

大大阪時代のシンボルは、大正期の「最先端」。

「電気」という産業全体が輝いていた時代。今で言えば差し詰め、IT産業のような響きで語られていた時代。そんな大正3年に創立された社交倶楽部が、堂島に威風堂々と建つ中央電気倶楽部である。

電灯・電力・電機、そして電鉄会社といった最先端の「電気」に関わる企業群によって、地上5階、地下1階という当時としては最大規模で竣工された。設計は大坂建築界の売れっ子、葛野壯一郎。北船場の大阪倶楽部(創刊号参照)を強く意識した建物は、何といても内部の立体的な構造的素晴らしい。5階ホールのホワイエや、中央の吹き抜けなど、様々な意匠を凝らした設計が見る者を圧倒する。現在の会員も関西電力をはじめ、電鉄や関西で有力な電気関連企業が名を連ねる。

昭和7年には、かの松下幸之助がホールに幹部社員を集め、当時の松下電器の創業記念式典を行った。同社では今も新社長就任などの節目には、この場所で創業者の思いを再確認しているという。

## ◎入会資格

電気に関係ある事業の進歩と発展を図る倶楽部の趣旨に賛同することが大前提。現会員2名の推薦が必須。入会費、会費に関するは直接問い合わせを。現在会員は2千名弱という規模を誇る。館内は原則として会員以外は入館できないが、レストラン(☎06-6345-6351)は会員の同伴に限り、非会員の利用を認めている。



娯楽施設や図書館、食堂やバー、喫茶の他に、地下には散髪店、そしてしゃぶしゃぶ・すき焼きの【えれき亭】が。電磁調理器を20年前にいち早く取り入れ、今も現役。従業員の山本寿江さんは、「みなさん、家では召し上がれないお肉を、お腹いっぱい食べて帰られます」と常連の長老たちの元気を強調する。館内厨房は2008年5月にオール電化が完了。

ふりがな	かわさき しんじ	ふりがな	すいじょうたくしー すいとりむじん
氏名	川崎伸次さん	職業	水上タクシー 「水都リムジン」船長
経歴	昭和27年 徳島県海洋町の漁師の家に生まれる 昭和37年 この頃から素潜りのバイトを始める 昭和47年 この頃、服飾デザイン専門学校への進学のため、大阪へ出てくる 昭和61年 この頃、現在所属する伴ピーアールの社長と出会い、起業に加わる 平成5年 くだおれ太郎キーホルダーなどの発売を手がけるうち、大阪の観光資源開発に興味を持つように		



今回のグッドリバーは、大阪の川でその水上タクシーを操る船長・川崎伸次さんである。タクシーと言っても「ちょっと大阪市役所まで。淀屋橋やのうて、大江橋側に停めてな」という具合ではない。チャーター船である。カップルやグループで貸しきり、中之島や大阪城方面を中心に、道頓堀や天保山方面まで周遊する。春は花見、夏は夕涼み、冬でもクリスマスシーズンは



繁忙期だ。私の知るかぎり、この手のタクシーは大阪市内で6台ほどが国に届け出して営業している。川崎さん曰く、「小型ボートのいいところは360°見渡せ、水と風を感じられること」。確かにいつもの大阪がぜんぜん違うワンダーワールドに見える。だからリピート率は高いらしい。「記念日に毎年予約が入るファンがけっこういますね」。

営業部員も兼ねる  
水上タクシー船長  
なんて、いないよ。  
(川崎)



水の上にいる方が  
落ち着くって、  
スゴいですね!  
(中谷)



また「若い人たち、特に女性の船長とかが出てきてくれたら」との展望も。

こんなアツイ川崎船長であるが、自らこの職へ進んだわけではないらしい。アパレルや広告関係の仕事をした後、現在籍を置くPR会社で企画マンとして働いていた。そこで「水上タクシーで大阪をPRしよう!」



となつたのをきっかけに、「舟運事業部」の部長兼船長に就任したのだ。しかし、それにしても、えらく操船が上手い。普通の船長なら陸で休憩している場面でも船から降りようとせず、「水の上が落ち着くんですわ」と、ゆらゆらしている。それも生い立ちを聞いて納得。徳島の漁師の家に生まれ、子供の頃から貝を獲ってバイト代を稼ぎ、櫓でも漕でも漕げる根っからの「水の民」なのだ。都会で働きたいと地元を離れたものの、結局は都会で船に乗る暮らし。きつこの人、前世でも船に乗ってたんやろなあ。

店紹介 金～日曜のレギュラークルーズのほか、予約をすれば平日のチャーターもできる。通って欲しいコースのリクエストにも柔軟に対応してくれる。定員は11名まで11月から3月半ばまでは休業するが、クリスマスシーズンは運行する。予約・問い合わせは☎06-6314-3773まで。



今月のテーマ **【クールビズ】**

残暑お見舞い申し上げます。スーツなんかは着てられん、とは思うものの、やはりそこはシブ好みの島民のみなさん、あれこれ工夫しておられました！  
取材・文／大迫力(本誌)



あっぱれ!!

「クールビズの制服なんです」

会社全員で環境問題に取り組もうと今年から支給されることになりました。業界としては珍しいと思います。色は、涼しげですし気に入ってます。

一体感と協調性を感じさせる「ユニフォーム」の存在は、「不機嫌な職場」なんて新書が売れるこの時代にはもっと見直されて良いでしょう。色は無難ですが、なにも個性を強調するばかりがファッションではありません。全員が同じものを着たときの力強さもまたファッション。川久保玲が「コム デギャルソン」でやろうとしたことに通じるものを感じます。



岩井証券  
島本翔護さん(25)

「外の方の目もありますので…」



平和不動産  
奥田昌宏さん(26)

外出する際は上着がないと落ち着かない。今日は小物はシルバーでまとめてみました。代理店の方とお会いする時は服装にも気合を入れます。



爽やかなストライプにキリッとしたクレリックシャツは、ピザならマルゲリータ、パスタならペペロンチーノのようなまさにイタリアンクラシコの王道。私どものギョーカイにとっては鑑です！個人的にはもう少し力を抜いて…とは思いますが、お似合いです。

「市長と市民を繋ぐのが仕事です」



大阪市役所 情報公開室  
市民協働チーム サブリーダー  
内山泰博さん(48)

市役所とは言ってもみんなラフな感じかな。今日は靴下もピンクやし。まあピンクは僕くらいやけど。白いシャツは着たことがないね。



ピンクのギンガムチェックでやさしさを演出、市役所の方らしいですね。しかし上下のバランスが…。スーツ下と思われるストライプ地のスポンがややキツイ印象。パステルカラーを上手に見せるなら無地の綿パンツなどはいかがでしょうか。ラフになり過ぎることはないですよ。



審査員／大平秀峰さん  
[NAKAGAWA1948 梅田桜橋店] 店長  
老舗らしい風格と肩の力が抜けるフレンドリーさを兼ね備えたテラーにて、絶妙な採寸テクニックを誇る「ゴッドハンド」として知られる。[NAKAGAWA] と言えば淀屋橋WESTにも店舗があり、島民にもおなじみ。☎06-6348-5200

大阪証券取引所  
門垣裕之さん(25)

取引所には見学コースがあり、一般の方の目も意識しながら選んでいます。ピンクなんかも着たいんですが、1年目ですし控えめにしています。



ご入社1年目、そして一般の方の視線への配慮、ええと思います。とはいえクールビズはシャツだけでなく良いはず。ライトグレーのスボンなどにされると、ストライプがよりくっきり見えますよ。スラックスなど「替えズボン」で遊んでみてください。



「そりや、暑いんですけど」

●質問その一

企業採用などでは、体育会系の人間が好まれるというのは、なんとなく「一般的な通説」になっている気もするけれど、体育会ノリのある過剰な上下関係って、果たしてそんなにいいものなんでしょうか？  
「管理する側にとつて  
使い勝手がいいだけでは？」とも思え、スポーツが資本主義社会の内部に、巧妙に取り込まれているような気がしてきて…。  
(男・33歳・大学教員(ラグビー部出身))



「ちよつと釈せんせに聞いてみよか」

現役ばかりのお坊さんが島民たちの悩み、疑問にお答え。  
「えー、仏教って意外と「使える」やん！」

●質問その二

前世を見たリ霊視したりするテレビ番組が人気です。ああいった「スピリチュアル系」と呼ばれるような人物や現象は、仏教的見地からは説明できるものなのでしょうか？  
別の宗教の概念も混じっている印象を受けますが、お坊さんは、近ごろのスピリチュアルブームをどのように受け止めていらっしゃるのでしょうか？  
(女・32歳・雑誌編集)



前世を見たリ霊視したりするテレビ番組が人気です。ああいった「スピリチュアル系」と呼ばれるような人物や現象は、

●解答

上下関係の遵守が組織運営にとつて都合が良い、という面はあるでしょうね。その機能が、スポーツにおいても会社においても活用されているわけで、構造は同じです。その機能自体にはそれほど問題ないんじゃないでしょうか(上下関係が負の要因となる企業や業種もあるとは思いますが)。  
問題は、質問の中にもある「過剰な」つてところですね。仏教で言うならば、「過剰な上下関係」も「上下関係一切なし」もバランスがよくない、ということになるでしょう。人間っていろんな場面で「過剰」になり、自分でもコントロールできなくなる「こと」が起こります。「中絶反対運動がエスカレートし、産



しゃく、てつしゅう  
大阪池田市にある如来寺住職。兵庫大学准教授。仏教を日常生活の中で役立てる方法を説いた「いきなりはじめる仏教生活」がベスト中。実は朝日カルチャーセンターで講演を行う「島民」でもある。

●解答

現在、巷で語られているスピリチュアル系の情報の多くは、イギリスやアメリカで展開した「スピリチュアリズム」「ニューエイジ・ムーブメント」を基盤にしています。そして、これらはヒンドゥー教や密教の影響を強く受けて形成されました。ですから、確かに仏教とまるで無縁というわけではありません。  
でも、仏教では基本的に、前世や来世があるうがなからうが、それが見えようが見えなからうが、そんなところに宗教性の本質はない、私が今を生きていることが先立つのだ、という立場に立脚します。  
スピリチュアル・ムーブメントは、オカルトや宗教カルトから医療や福祉まで広範囲にわたるので、



●仏教用語の処方箋

ひと口に語ることはできませんが、とにかく宗教的な情報に振り回されちゃダメです。不可知なものに対して畏敬の態度をもつことは大切ですが、それに足をすくわれてしまつてはなんにもならないのです。ちなみに、私、マスメディアが「霊能力」や「超常現象」について扱う際は、もっと慎重でなければならぬと考えています。

●仏法に不思議なし「ぶつぼうにふしぎなし」よく神で言われる言葉です。仏教の教えの多くは、経典や人間観察に基づいて成り立っているの、奇跡や超常現象や超能力が主題となることはあまりありません。

道説 法

●中道「ちゅうどう」

極端な方向へと偏らない実践修行のこと。どんなにすばらしいと思えるものでも、極端はダメなんです。

婦人科医院を襲う」「イルカやクジラを救うために船を爆破する」など、人間ってヘンなことになっちゃういますよね。負の連鎖が止まらなくなるんですね。だから仏教では、常に心と身体を整えて、過剰にならないように警戒します。「上下関係を大切に」から「上下関係が過剰」になるから本来の姿ではなくなっちゃうんですよ、きつと。





## 第2回 屋上樹苑@新ダイビル

### ビルの谷間に咲く パーク・ライフは ここから生まれた。

北新地の夜にははらはらと桜が舞ったそうである。酔客が見上げると、それはビルの上から落ちてくる。「屋上緑化」という概念などなかった何十年前から、堂島川の北岸に建つ新ダイビル屋上は、緑少ない大阪都心部の貴重な自然空間だった。

「赴任して初めて屋上に出た時は感激しましてね。以来、来客があるたびにお連れしたもんです。驚く顔を見るのが楽しみで…」という話をしてくれたのは、ある企業の支店長氏。「今ならなんばパークスとか大規模な所もありますが、ヒートアイランドなんて誰も考えもしなかった時代。その先見性はすごいです」

昭和38年に完成した屋上樹苑は約1000坪。桜、ケヤキ、ツツジやツバキといった樹木・草本類が5600本も植えられている。セミ時雨が降り、野鳥が群れ、風が吹き抜ける立派な公園だ。昼休みともなると、弁当を広げるOL、腹ごなしにウォーキングをする課長、携帯でプライベートな話に興じる若手社員…が現れ、吉田修一の小説に描かれたような、ビルの谷間の「パーク・ライフ」がひととき現出する。

御堂筋を望めば、屋上に緑を冠したビルがいくつも見える。その種をまいたのは、まぎれもなくこの新ダイビルなのである。が、その先駆的存在も、数年後の建て替えが決まっている。



### 新ダイビル屋上樹苑

「万物の霊長である人間は、生きとし生けるものへの責任と、その生命・環境を保護しなければならない」という当時のオーナーの崇高な理念により整備。ビルの省エネ効果も、もちろんあり。開放時間は11:00AM～2:00PM(土曜～1:00PM、日曜休)。

夏はビアガーデンになるサントリー本社の屋上も緑に囲まれている(写真上)。大阪市役所の屋上庭園(写真下)は、11月終わりごろまで一般公開中(火・金曜午後2:00PM～4:00PM)。



北館と南館をまたぐ橋(写真上)など、凝ったデザインが散りばめられている。南を望めば淀屋橋。大阪市役所をはじめ、いくつかの建物屋上にも緑が見える。



## ナカノシマニア

取材・文/小田切聡

### 大 阪の街を歩いていると、必ずお世話になるのが橋。大きな橋から小さな橋まで、毎日のように通過しているはずだ。

それもそのはず、昔から大阪は「なにわ八百八橋」と言われるほど橋があり、市内には現在も大小あわせて850以上の橋が架かっているのだから。でも、残念なことに私は「お世話になっている」なんて、今まで一度も思ったことがない。それどころか、意識したこともない。

そんな具合に普段は忘れられている橋だが、実は中之島界限では数年前から年に一度、「橋洗い」という橋の清掃イベントが開催されている。え、橋の清掃って普段は行政がやっているんじゃないの?と思う人も多いだろうが、実はやってない。誰も掃除してない橋の欄干は、排気ガスや鳥のフンなどでドロドロ真っ黒。ひどい橋になると、粗大ゴミ置き場状態になっている。そしてニオイも…。



中之島ガーデンブリッジを清掃する大阪ロータリークラブのみなさん。今年は10月25日(土)に同じく中之島ガーデンブリッジにて橋洗いを開催。詳しくはなにわ八百八橋「橋洗い」実行委員会まで。☎06-6929-0110



e-よこ会は東横堀川界隈の住民や企業、ショップオーナーなどが中心。毎年、東横堀川にかかる橋を清掃している。今年は10月4日(土)に開催予定。大阪市中央区役所とともに高麗橋、平野橋などを清掃予定。詳しくは大阪商工会議所地域振興部まで。☎06-6944-6323

# 橋もココロも洗われる イベントがあつた。

イベントはそんな状況をなんとかしたいと、地元島民により開催されている。イベントを行っているのは東横堀川水辺再生協議会(通称e-よこ会)と、地元住民の団体である大阪ロータリークラブ。毎年数十人への参加者は、どちらもみんなボランティア。実は橋の現状に不満を抱いている「隠れファン」が大勢いたのだ。

まずは欄干に水をかけて、デッキブラシやタワシでゴシゴシと。気持ち良いぐらいに汚れが取れる。というか、

橋の欄干って白かったん?と、初めて見る本当の橋の姿にビックリする参加者も多いようだ。毛穴すっきりパツクを剥がす時の快感に似ているのかもしれない。

島民にとって橋は、なくてはならないライフライン。そんな重要な役割を果たしている橋が汚れているのは、島民として問題アリだ。参加してみれば、橋がキレイになることが、どれほど爽快感溢れることか分かるはず。今年はずいぶんゴシゴシしてみたい。



# 大塩平八郎の渡れなかった橋

天保8年(1837)2月19日早朝、大川に架かる天満橋を南へ渡ろうと駆けてきた武装集団があった。大塩平八郎と彼の私塾「洗心洞」の塾生。そして、彼の思想に賛同した町人百姓たちである。目指すは東町奉行所。当時、大坂は飢饉により諸物価は高騰し、庶民は喰うや喰わずの暮らしを強いられていた。にもかかわらず暮らしを強いられていた。にもかかわらず東町奉行・跡部山城守は一部の豪商らと結託し、米を買い込み、江戸へと送り、將軍家のご機嫌を取るのを優先した。大塩は最早堪忍ならなかった。



天保8年(1837)2月19日早朝、大川に架かる天満橋を南へ渡ろうと駆けてきた武装集団があった。大塩平八郎と彼の私塾「洗心洞」の塾生。そして、彼の思想に賛同した町人百姓たちである。目指すは東町奉行所。当時、大坂は飢饉により諸物価は高騰し、庶民は喰うや喰わずの暮らしを強いられていた。にもかかわらず東町奉行・跡部山城守は一部の豪商らと結託し、米を買い込み、江戸へと送り、將軍家のご機嫌を取るのを優先した。大塩は最早堪忍ならなかった。

やく大川を渡ったのであった。橋を渡れば船場。豪商達の店が並ぶ。天誅の火をかけ、東へ東へ。腐敗役人共の巢窟を目指したが、役人達に取り囲まれ、半日で鎮圧されてしまったのである。大塩は市中に潜伏したが、最期は自害し果てた。

四海こんきう(困窮)いたし候はば天禄ながくたたん、小人に国家をおさめしめば災害並びいたると

(大塩平八郎決起前の檄文より抜粋)

大塩平八郎は天満与力であったが、職を自ら辞し、天満の自宅を「洗心洞」と名づけ、陽明学を教えた。陽明学は実践を重んじる。然るに、今の大坂の治世は腐敗しきっている。立ち上がるべきだと弟子たちに説いた。

そして、遂に決起の時がきた。天満橋北詰まで来たが渡れなかった。橋の南詰はすでに役人たちが固めていたのである。大塩は迷わず大川北べりを西へ。天満青物市を越え天神橋北詰へ。しかしこの橋も切り落とされ渡れなかった。一向は更に西の難波橋まで走り、よう

歴史に「もしも」はないが、あの時、天満橋をすぐに渡ることが出来ておれば、どうなっていたであろうか。大坂のために命を懸けた大塩平八郎。彼が渡れなかった橋が天満橋と天神橋なのである。橋一つにも怒りと悲しみの歴史がある。

きょくどう・なんかい 1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業前(1989年)に三代目旭堂南海に弟子入り。1998年大阪府より「咲くやこの花賞」授賞。得意ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花俠客伝」「天満官霊験記」など。

# トウミン月報

2008年9月1日発行

猛暑日続く7月某日、さらに島をアツくする情報が編集部へ。「中之島駅見学会へのお誘い」。これまではイメージ図を見てあれこれ想像を膨らませていたが、やはり百聞は一見にしかず、であった。現場用ヘルメットをかぶる意気揚々と階段を降りるや衝撃が走った。なんと壁一面に木材が!「これまでは防災上、地下には使うことができませんでしたが、燃えない木材が



「他の駅もどんな感じになるのか、とても楽しみです」と玉川に住む仲良し母娘。

開発されたことで実現しました」と工事担当者。最新性の中にも島の歴史やシブさ漂う妙手である。

この日見学会に参加した玉川在住の母娘(右写真)は「京都に出かけることが多いので



10月19日の開業を静かに待つ中之島駅にはほんのりと木の香りがただよう。

# ブルーを脱いだ中之島駅!



「こんな貴重な機会はめったにない」とビデオカメラをまわす土佐堀在住のご夫婦。

新駅は重宝し「早くもおけいはい宣言。」まさかうちが京阪沿線になるとはという土佐堀在住のご夫婦(左写真)も、高級感あふれる新駅の仕上がりには満足そう。周辺住民を中心に2日間で1600人以上の人々が足を運んだ見学会。島民たちは新駅に興味津々なのだ。

中之島のことなほおまかせと意気込む小誌だが、創刊早々強力なライバルが現れた。リイガロイヤルホテルと言えば島が誇る老舗。その広報誌である『The ROYAL』も30年余の歴史を持つのだが、リニューアル号となる9・10月号の



表紙はメインラウンジに展示されている「源氏物語絵巻」。

# 島民に早くもライバル出現?

特集は「今昔もゆるの中之島」。内容もシブく、田舎橋対岸にて見事な枝ぶりを見せる「蛸の松」の秘話から、和食「なだ万」と中之島の関係など、ホテルの広報にとどまらな、島の歴史や大阪文化を解きほぐす誌面。島民だけでなく、歴史好きも必見。次号でも中之島を取り上げるの(と)で、小誌との(あくまで)併読をおススメしたい。

# 1週間で65公演! 御堂筋は夫ファイルの音が響く

「やりのすぎの感はあるんです(笑)、奏者の希望でこれだけ増えたんですよ」と語るのは大阪フィルハーモニー交響楽団の経営企画室長・今田徹也さん。「大阪クラシック2008」が9月7日(日)から1週間、市内中心部の官庁や企業ビルの公共スペースで開催されるが、その数なんと65公演。いつも立派なステージで演奏する団員たちが「お客さんと近い場所」との希望で予定の50公演からさらに15

- 公演増えた。
- 「ライブの喜びをお客さまと共有したい。『歩いてたまたまたまクラシック音楽や』って『でいいんです。中之島だけで以下8公演。大フィルのHPもぜひ見へし。』
- 6公演・4公演
- 7日 13時半~14時/A
  - 8日 16時半~17時/A
  - 9日 11時~11時半/B
  - 10日 19時半~20時半/B
  - 11日 11時~11時半/B
  - 12日 12時半~20時半/B
  - 13日 19時半~18時/A

※A=市役所シティホール  
B=中央公会堂大ホール

# 次号予告 祝! 京阪電車中之島線開業 いつの間にか、駅前だらけ。

10月19日、中之島ムーブメント最大の目玉がついにやって来る! 地元島民の声からめったに聞けない開業の秘話まで、読めば誰でも乗りたくなるザ・京阪特集を増ページ特大号でお届け。

●『月刊 島民』vol.3は2008年10月1日発行予定です!

配布協力/京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋/ブックファースト梅田店/旭屋書店 本店/旭屋書店 梅田地下街店/旭屋書店 堂島地下街店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/リプロ 梅田阪神店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/福家書店 淀屋橋店/紀伊國屋書店 本町店/ジュンク堂書店 天満橋店/紀伊國屋書店 京橋店/その他、取材協力先 ※配布にご協力いただける方を募集しております(島外の方でも大歓迎!)

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)  
編集・発行/月刊島民プレス  
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
松本 創 大迫力(編集集団140B)  
〒530-6591 大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル140B  
Tel.06-6445-2105 Fax.06-6445-2106  
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)  
デザイン/山崎慎太郎 表紙イラスト/奈路道程  
印刷/佐川印刷株式会社



# 新登場。「快速急行」、中之島ゆき。

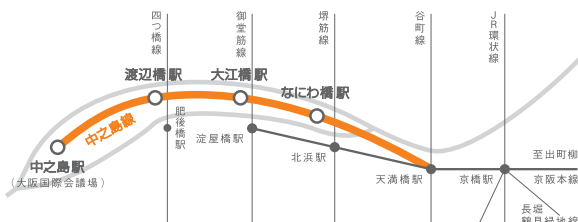
10月19日、新型車両3000系「コンフォート・サルーン」運転開始。



## COMFORT SALOON 3000 SERIES

中之島駅～出町柳駅間を結ぶ「快速急行」を  
新型車両で運転します。

- ◎水都「中之島」～京都「祇園・清水」～洛北の玄関口  
「出町柳」を直結する「快速急行」を運転。
- ◎最新機能を備えた、ハイグレードな快適車両を導入。
- ◎中之島線開業を機に、既存車両のカラーデザインを更新。



水の上の新都心へ  
nakanoshima-line.jp



中之島線 10月19日開業  
(予定)